



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ／リチャード D. キング会長

「ロータリーの心を伝えよう―家庭に、職場に、地域に―」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ／大日方 真会長

本日の例会 2002年5月24日 第747回例会

卓話 イニシエーションスピーチ

「すし屋の”むらさき”が・・・」

株式会社松浦巖生デザイン事務所

代表取締役アートディレクター 松浦 巖生君
当クラブ会員

先週報告 5月17日 第746回例会

◎幹事報告

第6回・次年度第1回クラブ協議会を次の通り開催いたします。全員のご出席をお願い申し上げます。

(とき) 6月14日(金) 例会後 13:10～15:00

(会場) 東京全日空ホテル B1 オーロラ

(テーマ) 「本年度各委員会活動報告」

「次年度各委員会活動計画」

※尚、本年度各委員長は「委員会活動報告書」を6月7日までに事務局へご提出下さいますようお願い申し上げます。

◎慶事披露

誕生日祝／尾上寛君(5月20日)、本嶋公民君(5月21日)

◎出席報告

会員68名／出席27名・欠席41名(出席規定免除者10名)
ビジター2名



5月17日／4件8,000円

2001～2002年度累計1,469,000円
多額の御寄付を有難うございました。

清水實／先日の新会員歓迎会はありがとうございました。女房共々感激です。松浦巖生／新人歓迎会ありがとうございました。村山公士／本日は所用のため、早退致します。先週の2750地区の環境フォーラムに出席の方、御疲れ様でした。青野信次／ニコニコピンチヒッターです。

次週予告 2002年6月7日 第748回例会

卓話予定

「人口減少の経済学」

財務省 財務総合政策研究所

原田 泰 氏
次長

第2回新会員歓迎会報告



新会員歓迎会が5月10日(金)、霞ヶ関三井クラブにて開催されました。当日は激しい雨にもかかわらず、対象新会員5名の内、ジョン・チャヌ、松浦巖生(及び夫人)、清水實(及び夫人)の各氏のご出席を含め総勢42名(内ご夫人7名)のご参加をいただきました。

高須親睦副委員長の司会進行により、清原親睦委員長の開会挨拶と新会員の紹介、さらに出席ご夫人の紹介のあと大日方会長による歓迎の辞、谷村副会長の乾杯発声により開宴になりました。

ジョン・チャヌ新会員は、ヴァイオリニストとして、ホールでの演奏活動のみならず、社会的に大きな反響を与えた新大久保駅転落事故に関連しての演奏活動、新しいチャレンジとして日本伝統文化とのジョイントコンサート等と多方面にわたり活躍中です。続いて松浦巖生新会員はアートディレクターとして活躍中であり、氏の作品(大きな乳房の絵)はニューヨーク美術館に展示されているとのことでした。続きはイニシエーションスピーチでのお楽しみとのことでした。最後の清水實新会員はIBM関連会社の旅行サービス部門の責任者です。学生時代より合唱活動をしており、いくつかの合唱団の会長等を歴任(ご夫人も婦人部会長)、合唱の活動の範囲は時折海外まで足を伸ばすほどのことでした。その他一杯飲む会の会長を始め、色々な会の会長を引き受け、人との交わりを楽しんでいる様子でした。

大日方会長が、ロータリーは親睦から始まり、奉仕活動を通じて社会との繋がりにかかわってきたが、今自分にとってのロータリー活動のテーマは、豊かに美しく生きることである、と歓迎の辞の中で述べました。多士済々の新入会員の方々との出会いも、各々の会員にとっては、大日方会長が云われる豊かに美しく生きることへのベースかなと思いました。十分な語らいと料理とお酒、あっという間に8時40分となり、新保幹事の閉会の辞によりお開きとなりました。会場手配につきましては山根会員にお世話になりました。(入沢 記)

出席者／荒木、馬場、福島、伯井、早川、入沢、石井、石坂、岩上、ジョン、川鍋、岸、清原 {智子}、小杉 {真}、松浦 {節子}、本嶋、村山、西澤、大日方、尾上、小原 {栄子}、佐々木、清水 {茂子}、新保、庄司、高須、武下、谷村、立林 {清美}、土屋 {淑子}、圓谷、渡邊、山根 {恵子}、吉田 {用}、吉岡

(42名・敬称略)

国際ロータリー第2750地区

2002～2003年度地区協議会報告

日時：2002年5月17日（金） 9:30～17:00

場所：京王プラザホテル

ホストクラブ：東京目黒ロータリークラブ

本会議

5月17日（金）京王プラザホテルで、松崎ガバナーエレクトが主催する地区協議会が開催された。参加は81クラブ、約900名。当クラブからの参加は石坂地区国際奉仕委員長を含め11名。9時40分から11時30分は、全体会議的なもので、主としてガバナーエレクトの、アナハイムにおける国際協議会報告を中心として、次年度地区運営方針の発表があった。主旨は、国際ロータリーを構成している各クラブの充実と、慈愛の心を原点とした、奉仕の実践の呼びかけ。午後は8つの分科会に分かれて熱心な討議が行われた。

第1分科会／会長幹事部会

次期会長 吉田 用親

会長、幹事の任期前、任期中の役割について、懇切丁寧な説明があった。特に、『手続要覧』2001年版について、色々改正点があるので、熟読して欲しい、標準クラブ定款、細則の変更もある、よく理解して欲しいと強調されていた。その他、芝RCの真田地区危機管理委員長より、クラブの危機管理体制を予め設定しておく事の重要性和必要性の説明があり、非常に参考になった。

第2分科会／クラブ奉仕部会 次期クラブ奉仕委員長 小杉 修造

まず地区クラブ奉仕委員長 十蔵寺 新氏（府中RC）より、例会を楽しくするための努力、座るテーブルを固定化しない、ビジターへの心くばり、卓話の充実、他クラブとの交流、親・子クラブ合同例会のすすめ、禁煙などの総括的な話があった。

R情報委員長（代行）松野康夫氏（駒場RC）／委員長は次年度ガバナーの松崎勝一氏（目黒RC）があたる旨、報告あり。1. 各クラブへ「ロータリーとは」というアンケートを送ったので協力を願いたい。2. 入会三年未満の会員の研修セミナーを開催、など次年度ガバナーの意向を話す。

会員増強委員長 伊藤昭治氏（駒場RC）／毎月一名の新会員を入れることにクラブは挑戦してもらいたい。3%の純増、財政面の支援に役立つ、女性会員の推薦、職業分類の再確認、元会員の再入会も検討すべき、退会防止のためにクラブの明るくて楽しい雰囲気をつくるように努める。

女性委員会委員長 榊原節子氏（恵比寿RC）／RCにおける女性の役割、女性会員がいることによるクラブの活性化。女性会員の比率は米国は17%だが、日本はまだ2%。2750地区は295名の女性会員がいるので、5%と平均を上回る。女性会員の入会は時代の流れ、との話があった。

広報委員会委員長 司 葉子氏（恵比寿RC）／本年度より新しく発足。ロータリーを広く世の中に知ってもらうため、そのやり方を委員の皆さんと検討する。

拡大委員会委員長 菅野七三郎（目黒RC）／新クラブの設立には2～3年かかる時もあるが、勢いに乗ると意外に早く誕生することもある。まず、親クラブの基盤造りが先だ。2005年がロータリー100周年に当たるので、それに向かって造るのも一つの方法。拡大とは反対にクラブの合併の動きもある。

尚、オブザーバーとしてパストガバナー 村野順三氏、2580地区パストガバナー 玉村文夫氏、そして次期ガバナー 松崎勝一氏が列席した。

第3分科会／職業奉仕部会 次期職業奉仕委員長 荒木 昭文

職業奉仕部会は、カウンセラーに丸山宏パストガバナーを迎え、立木實次期地区職業奉仕委員長をリーダーに開催された。

まず、丸山カウンセラーが、「職業奉仕とは」をテーマに、ポール・ハリスの生い立ち、ロータリーの創立、発展過程、シェルドンの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」、標語「超我の奉仕」、社会奉仕と職業奉仕の葛藤、決議23-24、綱領、四つのテストを、大変分かり易く簡略に解説された。

続いて、立木リーダーによる「先人の説く職業奉仕という考え方」をテーマに新南RCが翻訳出版したシェルドンの「奉仕の哲学」からI. S. P理論を引用し、奉仕について説明された。質疑応答では、我国の厳しい経済情勢の中で崇高な道徳だけを追い求めても、会社が潰れてしまっしょうがない、新しい時代の職業奉仕活動はどうあるべきか等々の質問もあり、正に難しい時代のロータリー、職業奉仕を強く感じた研修であった。

第4分科会／社会奉仕部会・環境保全部会

次期社会奉仕委員長 高須 康有

次期地区社会奉仕委員長の杉山友一氏より、「NPO（非営利組織）の社会潮流とロータリーについて」提言があり、クラブとして出来るだけ多くの会員の参加を得て、もっと社会的影響力を行使して欲しい。地域社会レベルでの奉仕活動に地域のNPOと接触、連携できれば、ロータリーの社会貢献度は一層深まる等々の話をされた。

又、R財団の地域社会援助プログラムである（CAP）についても説明がなされた。その他、社会奉仕の実施例も披露され中身の濃い部会であった。

次期環境保全委員長 石井 謙次

片桐環境保全委員長より「環境への取り組み」と題し、自然と人間の共存共栄が如何に難しいか、私たちが預かっている、次代に引き継ぐべき地球が破壊されてしまうという、危機にきていることを肝に銘じおかなければならない、との話があった。

行政が悪いとか、企業が悪人であると言うなら、問題は簡単なのだが、結局は犯人は自分なのだという事も含めて、みんな一人一人が対応しなければならない。身近な節水、節電、リサイクルへの協力、地域アメニティへの理解と協力、つまり小さな身近に出来る事から実行しようと言う極めて当たり前のことこそが重要になっている。

そして、われわれロータリアンは企業人、社会人として環境に対して責任を持ちながら生活をしていかなければならないと思う。

～地区協議会の報告は次週号へ続きます。～

「めんぼう」投稿のお願い

好評頂いております「めんぼう」も、既に30名以上の会員による投稿で、週報の目玉になりつつあります。心打たれる内容で、感激を受け、当クラブ会員のお人柄、知性の高さ、知らない世界の紹介等々、他クラブからも絶賛の声が上がっております。

つきましては、まだ投稿して頂いていない会員の方々の投稿をお願いします。

Wordで1,000字から1,200字程度で、メールでお願いしていますが、手書きでも結構です。小杉〔眞〕会報委員長、圓谷副委員長、本嶋副委員長、事務局へ宜しくをお願いします。

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕大日方真 〔副会長〕谷村義雄 〔幹事〕新保國彦

〔会報委員長〕小杉真史 〔今週の担当〕岸義武

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp

例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111